

本日の上映作品から・・・

テンバ 希望の少年 Themba- A Boy Called Hope

絶望の中で「希望」は輝く

しほたにてつや
渋谷哲也 東京国際大学 ドイツ映画研究

テンバは南アフリカのコサ語で「希望」を意味する。本作はこの「希望」という名を持った少年の物語だ。実は原作小説がある。2006年ドイツの世界カップ開催に合わせてドイツで出版された同名小説である。著者ルッツ・ヴァン・ダイクは元々ドイツ人だがオランダ国籍を得て様々なマイノリティ問題を扱う小説を発表している。「テンバ」は南アフリカにおける貧困、DV、そしてエイズの蔓延を描きながら、その逆境の中で夢をつかもうとするサッカー少年テンバの成長物語である。やがて2010年、南アでの世界カップ開催を機にこの映画化が実現した。監督ステファニー・シチョルトは南ア出身でありドイツで映画制作を学んでいる。彼女は原作を読んですぐに映画化を決断した。「この話はマラドーナやジダンのような現実をベースにした物語です。貧困から抜け出してサッカーの夢を追いかけて、それを実現するのです。」・・・

◇スタッフ
監督・脚本:ステファニー・シチョルト
◇キャスト
テンバ/ナット・シンゴ
ルタンド/パトリック・モファケン
◇ステファニー・シシチョルト監督



1963年、南アフリカ生まれ。脚本家、プロデューサー、監督。01年ヨハネスブルグのストリートチルドレンを題材にした「Malunde」がバミュダ国際映画祭で特別賞を受賞。2作目となる本作でエムデン国際映画祭最高賞を獲得した。

日本映画名作

春との旅

2010年/134分/監督:小林政広
孫娘の春に面倒を見られ日々を過ごす元漁師の忠男。しかし町の過疎化によって春が仕事を失い、東京に出て働こうとしていると知り、終の住処を求めて旅にでる。それを追う春。疎遠になった親戚や兄弟を訪ね歩きながら、忠男は自分の人生そのものを見つめ直さざるを得なくなる。



仲代達矢さん来場
舞台挨拶!
被災地応援トーク!

ツイステッド・ルーツ Twisted Roots

家族。きずな。そしてヨーロッパ

のなかけいこ
野中恵子 トルコ評論家

誰もが一人の人間である前に「ヒト」であり、「X」「Y」の結合で生まれた存在。それすらも大なる自然が生んだもので、社会という人間がつくった仕組みも、けっきょくは自然界の中にできたヒトの営みの器だ。氷河と雪、どこまでも続く湿った森に覆われた大地と、そこに暮らす人々との関わりは、そのことをよく表している。どんなに必死に生きていると思っても、しょせんはそこに生かされているちっぽけなもの。だからこそ、家族をめぐるそれぞれのさ迷いは、支え合う大切さに気づくための試練である。ともに乗り越えた時、春の訪れのように、新たな希望が芽吹き始める——北限の神秘と一体の北欧の冬を背景に、みごとに描き出された再生のテーマだ。...

◇スタッフ
監督・脚本:サーラ・サーレラ
製作:リーサ・ペンティエラ
脚本:セルジャ・アハーヴァ
撮影:ラウノ・ロンカイネン

編集:ハリ・ウラネン
◇キャスト
ミルハミ/ミルカ・アーロス
ミッコ/ペルティ・スヴェホルム
サカリ/ニコ・サーレラ
ルミ/シルヴァ・ロピンス

1971年、ヘルシンキ生まれ。15歳で来日。日仏学院にて3年間学ぶ。フランスのシネマチック・アートとヘルシンキの芸術デザイン大学で映画史を学ぶ。主な作品に長編映画『Redeemer』(98)、『Slow at Heart』(00)、『Stripping』(02)、短編映画『Les Européens/Teneriffa』(04)、TVシリーズ『Divided in Two』(04)、『Asylum』(07)などがある。本作は2010年ロッテルダム国際映画祭に出品された。



2 lines 私、妊娠しました 2 lines

妊娠によって変わる体、生活、人生

チミン 映画監督

2009年7月の最後の日。一日二日とやって来ない生理にふと不安を覚え、恋人に妊娠検査薬を買って来て欲しいと頼んだ。数年間、不安な思いで妊娠検査薬を使用してきたが、2本の線を見たことはなかった。裏返しに妊娠検査薬を見つめながら、今度だけ違えば、今だけ違えば、次は必ず喜んでこの状況を受け入れますと祈った。あまりにもはっきりとした2本の線が現れたとき、私は泣きも笑いもしなかった。その2本の線からは、なんの現実感も感じられなかったからだ。病院に向かう途中、私は完全に宙に浮いていて、病院では結婚「有」にマルをつけた。...

◇スタッフ
監督・脚本・編集:チミン
撮影:キョン・ファンソン
音響:ヤン・スヒョ

◇チミン監督

チュ・ヒョンスク監督のドキュメンタリー映画「She is」(07)の助監督を務めたことから映画界に入る。ドキュメンタリー「She Saw Spring」(07)が第10回ソウル国際女性映画祭アジアン・ショートフィルム&ビデオ・コンペティション部門で特別賞を受賞。



会場の皆さんの声・声・声

映画 には見ることができないようないい 国の映画が 映されるのがよいので、もっと くの人に映画祭に来て しい と思う。今後も、いい 国の映画を 映し続けて しい。

さん(名)

この映画祭には 年1回は来ていた。今年の映画祭では 0本の映画を見る 。本 によい映画が いい。スケールは小さいが、日本にいながら 来に がっていく 界中の大事な部分に する女性たちの意見を 知ることができてよい。日本の女性たちは、男性たちに せがちになることが

いが、う きときにはしっかりと主 して いく きだ。お もあり、 もあり、い い なことができる人が自分の のためだけでなく、主 して えて、社会を変えて いたり、作っていたりする きだと思う。自分の目で かめることも大切なので、 々な に して自分の目で かめる ようにしている。

Paloma

MENARD JAPAN, SINCE 1959

おすすめ東北名産品

1階交流サロンで開催中!!!

山形県: 山寺焼 煎餅

山形県: 山寺焼 煎餅

